

# はねっと 5

## 仙台市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。

市民活動団体を紹介「市民活動突撃レポート！」

### 里山の環境を守るため、 今できることから

**オンラインを活かし、コロナ禍でも楽しく里山保全**  
オンラインで大学生たちが披露し合うのは、里山に植えるために、自宅のベランダで育てているコナラやクロモジの苗木です。本来、一箇所の敷地に集まって行うことが多い育樹を自宅で楽しんでいます。企画したのは、東北大学生を中心とした、環境サークルTSALL東北(以下、TSALL)です。2021年から、里山・河川流域の環境を守るため、育樹、植樹、伐採した木を活用する活樹まで、一連の環境活動に挑戦してきました。この企画は、杜の都の市民環境教育・学習推進会議(FEEL Sendai)の「[[環境社会実験]未来プロジェクトin仙台」に採択されました。

3ヶ月間、責任を持って苗木を育てた後は、かねてから連携していた川崎町の会社の協力を得て、「植樹体験会」を主催。土砂崩れ防止を目的に、会社が持つ川崎町の里山の斜面に、150本の苗木を植えました。SNSで呼びかけると、一般からも8人が参加しました。活樹は木工・エネルギー化など様々な資源活用方法がある中で、薪にして活かすことを選びました。広瀬川河川敷で市民向け「薪割り体験会」を開催。自分たちで割った薪で火を焚き、沸かしたお湯で入れたコーヒーを味わいました。

#### 自分が育てた苗木が暮らしの水を守る

TSALLは、2017年の発足以来、メンバー同士で様々なボランティア情報を持ち寄り、広瀬川沿いの清掃活動や、川崎町の里山保全といった環境活動に参加して



▲育てている苗木の「うちの子」自慢

きました。現在の代表伊藤潤一さんが活動に参加したきっかけは、「自然の中で活動するのは楽しそう」と思ったから。活動を通じて、地域資源である里山を守る大人たちと出会い、環境への学びを深めました。伊藤さんは、「植樹の後も、川の上流部である里山の環境を整えることが大切で、それが自分たちの住む仙台の水資源の向上につながっていると学びました」と話します。

#### できることを一緒に

TSALLは、仙台で暮らす全ての人に関わりのあることだからこそ、より多くの人を里山保全活動に巻き込もうと奔走しています。「今後は活樹に力を入れ、子どもたちに来てもらえるようなイベントを企画したい」と伊藤さん。持続的な里山の環境を守るため、できることを一緒に考える輪を少しずつ広げています。



▲すくすく成長した苗木を植樹

▲みんなで快音を響かせた薪割り

#### 環境サークル TSALL 東北

Mail [tsall.tohoku@gmail.com](mailto:tsall.tohoku@gmail.com)  
Facebook <https://www.facebook.com/tsall.tohoku/>  
Twitter @Tsall\_Tohoku\_



Twitter ▶

2022年2月にサポセンで収録した「協働の現場トーク！」では、TSALLの一連の活動について、お話を伺いました。動画は、「サポセンちゃんねる」からご覧いただけます。



サポセンちゃんねる ▶





## 活動を始める一歩を応援「コトハジメ」

### ホームレス状態にある 人たちのためにできること

特定非営利活動法人仙台夜まわりグループは、2000年1月から路上生活者や生活困窮者を支援しています。「路上で命が失われるのを見過ごせない」と、路上で眠る人たちに食べる物と生活用品を配って安否確認をする夜回りや、炊き出しなどをしています。また、生活相談や住居支援など行政と連携した「自律」へのサポートも行っています。団体によると、仙台市には、路上やネットカフェなど不安定な居住状態を余儀なくされている人は100人前後いるといえます。

これまで、夜回りや炊き出しは、団体による研修を受けたボランティアと共に行ってきましたが、現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、限られたスタッフのみで行っています。一方、感染症の収束を見据え、ボランティア研修会は継続しています。研修会では、ボランティア活動の内容だけでなく、路上生活者の実態や、どのように野宿状態に陥ってしまうのか、また、なぜそこから抜け出せないのかなども学ぶことができます。

団体が考える「自律」とは、その人らしい生き方ができるようになること。しかし寒さや空腹、孤独は、人の生きる力や明日を考える力を奪っていきます。団体は「ボランティア活動



▲研修は団体スタッフに気軽に質問ができる少人数制で、初めての人も安心です。

を通じて当事者の方に、誰かが気にかけているのだということ伝えてほしい」と、まずは研修会への参加を呼びかけています。

### 仙台夜まわりグループ ボランティア研修会

日時 毎月第2土曜日14:00～15:00  
場所 みやぎNPOプラザ内交流スペース  
(仙台市宮城野区榴岡5番地)  
TEL 050-5539-6789(要事前予約)  
HP <http://www.yomawari.net/>



## 活動に役立つ書籍を紹介「お役立ち本」

### マンガでわかる LGBTQ+

本書では、「LGBT」をはじめとした性的少数者たちの、日常生活の中で困ったことや周囲からかけられた言葉に違和感を持ったことなど、様々な体験談をマンガで紹介しています。読み手は性に関する知識を得るだけでなく、自分だったらどう接するかを考えたり、これまでの自分の言動を振り返ったりすることができます。自分事として考えることで、「性のあり方」にことさら着目するのではなく、まずはその人の気持ちになって考えることの大切さを思い出させてくれる一冊です。

著者：バレットーク マンガ：ケイカ 発行所：株式会社講談社



## つながる つなげる サポセン

### 仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。  
「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 5月11日(水)、25日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは  
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

### 編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター  
(指定管理者：特定非営利活動法人  
せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2022年5月1日

デザイン PEACE Inc.

### [ Twitter ]

@SCSC4CA

### [ YouTube ]

サポセンちゃんねる

